

寮生の生活実態・意識に関する考察

— 基本的生活習慣に着目して —

内山了治*・長坂明彦**・常田 亮***・森山 実****・中村護光*****

Dormitory Students' Attitudes and Living Conditions

— Focusing on basic lifestyle behavior patterns —

Ryoji UCHIYAMA, Akihiko NAGASAKA, Makoto TOKIDA

Minoru MORIYAMA and Morimitsu NAKAMURA

This study presents guidelines for an education dormitory with individual rooms. The method involved: surveying students on their lives by questionnaires, analyzing the data and comparing results with those of previous surveys. The response rate was 94% and 91.8% for males and females, respectively. The survey revealed lifestyle problems such as these: about 60% of students studied less than an hour a day; going to bed late and getting up late was widespread; 30% did not eat breakfast. While 72.5% of male students locked their rooms upon departure, only 38.6% of females did. Comparison with prior studies indicated increased satisfaction with dorm life as manifested by a decrease in rule-breaking and theft; greater concern about cleanliness, and more compliance with shoe regulations. Key guidelines include the need for individual guidance and more active participation of senior students in student government.

キーワード：アンケート調査，生活実態，寮生指導，個室型教育寮

1. はじめに

本校学生寮における一連の環境改善は，平成6年7月に竣工した清風寮と5号館に始まり，平成8年度の3号館，4号館及び食堂の改修，平成10年12月には懸案であった雄風寮風呂の竣工，そして，平成11年10月の2号館改修竣工により一段落し，1号館を残すのみとなった。5年間余りに及ぶ改修期を経て，本年度後期からは1号館でも1部屋2人制が実現し，寮全体が個室を中心とした学生寮に変化した。

このような個室化への移行は「時代の必然的な流れ」¹⁰⁾として捉えられ，予想される長所・短所は既に指摘されている⁹⁾¹⁰⁾¹¹⁾が，個室型教育寮として，特に低学年寮生への指導上の具体的指針や方策については言及されておらず，早急に提示し検討していく必要があるものと考えられる。

そこで，本論では，昭和63年度，平成4年度及び平成7年度に実施されたアンケートと同様な調査を全寮生に実施し，先行研究¹⁾²⁾⁶⁾や報告⁸⁾⁹⁾¹⁰⁾¹¹⁾との比較を通し，寮生の生活実態，意識及び過去との差違について検討を行った。同時に平成10-11年度の指導方針の一つとして掲げられた「基本的生活習慣の確立」に着目し，指導の評価や個室型教育寮として配慮すべき指針や方策の提示を試みた。

2. 平成10-11年度の指導方針

平成10-11年度の寮生指導は，現在あるルールを寮生に再認識・順守させることに力点を置いた行動・実践型の指導に特徴があるといえる。寮務委員会では承され，全教官に周知された重点項目(表1)は，低学年寮生を対象とした23時消灯の復活をはじめとする各種生活習慣，日課や浴室23時施錠の実施など，教育寮として所期の目的が達成されるように全般的に見直されたものである。これらは教官から寮生への一方的な管理強化と捉えられやすいが，寮生会の活性化，学年別集会や居室訪問等により，教育寮であ

* (寮務主事補)一般科助教授

** (寮務主事補)機械工学科助教授

*** (寮務主事補)環境都市工学科助教授

**** (寮務主事補)電子制御工学科教授

***** (寮務主事)一般科教授

原稿受付 1999年10月20日

ることを再認識させ、寮生自らが生活を自己評価し、自己管理能力を向上させることができるよう指導上常に配慮した。

表1 寮生指導の重点項目

1. 基本的生活習慣の確立
 - ・居室訪問（1・2年生への重点指導）
 - ・生活時間帯調査等による寮生の自己評価実施
 - ・学年別集会の実施
 - ・入浴時間の日課励行（23時施錠）。当日清掃
 - ・寮規則違反に厳しく対処。挨拶の励行
2. 寮生会の活性化
 - ・寮生会組織と機構の見直し
 - ・館長、階長の設置（ブロック制の見直し）
 - ・寮生会活性化の施策
3. 個別指導の配慮
 - ・学校や寮への不適応学生の早期発見・指導
 - ・気軽に悩みを相談できる環境作りの模索

3. アンケート調査結果

3-1 アンケート実施方法と回収率

アンケート調査は全寮生を対象とし、平成7年度と同時期の平成11年7月上旬、各学年別集会の折に実施した。調査項目は昭和63年度、平成4年度、平成7年度に実施された項目に配慮し、前回同様無記名調査とした。回収率は表2に示したとおりであり、前回（雄風寮：77%、清風寮88%）の回収率を上回っていた。上級生の回収率が低かった原因は、4年生は提出忘れ、5年生は進路関係の不在者があげられる。

表2 アンケート回収率（数字は人数）

	雄風寮			清風寮		
	回答	在寮	回収率(%)	回答	在寮	回収率(%)
1年	62	62	100	14	14	100
2年	60	61	98.4	10	11	90.9
3年	62	66	93.9	8	8	100
4年	36	41	87.8	2	3	66.7
5年	37	43	86.0	7	8	87.5
留学生	7	8	87.5	4	5	80.0
計	264	281	94.0	45	49	91.8

3-2 過去の調査結果との比較および考察

寮生活の満足度、健康状態、人間関係、学習時間、クラブ加入状況及び違反・盗難について、昭和63度、平成4年度、平成7年度の調査結果との比較をとおして項目毎に検討を加えた。

（1）寮生活の満足度について（図1）

雄風寮：全体では63.0%（167名）の寮生が、「十分満足・満足している」と回答し、平成7年度の69%に

ほぼ近い値を示したが、今回の調査では、選択肢として「どちらでもない」という項目を設定したため、前回と直接比較できない部分もある。不満を持つ学生は全体で8.7%であり、前回の28.1%に比べ大幅に減少した。これらは風呂の改修や3・4号館改修による住環境改善の効果かと思われる。学年別に見ると、不満を持つ学生は3年生に多く、2号館改修による居室の差や、3・4号館は消灯時間が設定されているのに5号館はないなど条件の差が不満として表出していた。これらは、2号館改修竣工後、3年生は同一条件となるため解消されると思われる。低学年に関しては、「不満」の回答は8.9%であり、昭和63年（17.1%）、平成4年（17.8%）、平成7年（29.5%）に比べ明らかに減少した。「不満」の記述内容では、1年生では1号館の施設関係、入浴時間や、洗濯機の台数不足をあげるものが多く、他の学年では食事が主たるものであった。また、縦断的な比較として、平成7年度の1年生（本年度5年生）は、在寮生が76名から37名と減少、「満足」は68.4%から73.0%に向上し、「不満足」は30.3%から5.4%に減少した。

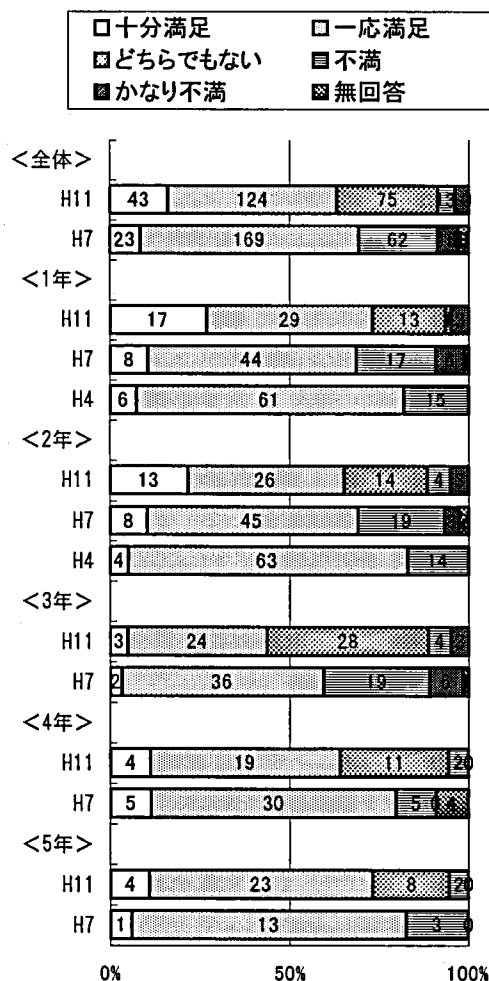


図1 寮生活の満足度（雄風寮）（数字は人数）

清風寮：「不満」と答えた寮生は2～4年で各2，合計6名(14%)であり，「どちらともいえない」は1年3，2年6，5年3，合計12名(27.9%)，「満足」は25名(58.1%)であった。平成7年には「満足」が95.2%を示していたので，満足度の低下が伺える。不満内容は，食事，風呂，自販機設置に関するものが大半であった。5年生が卒業すると，開寮当初からの寮生は居なくなり寮生意識の希薄化が懸念される。満足度からの示唆や問題行動の事前防止も含め，雄風寮に準じた指導を検討する必要があると思われる。

(2) 健康状況，人間関係について (表3)

雄風寮：健康状況に関しては，「健康を維持している」と回答した寮生は77.7%であり，平成7年と同様の値を示した。「不安がある」寮生は全体で10名おりそのうち低学年寮生は6名(4.8%)であった。過去の調査は1・2年生のみを対象としたものであり，平成4年(23.5%)，昭和63年(32.2%)に比べ，不安がある寮生は大幅に減少している。また，人間関係では，「良好・問題ない」とする回答は過去と同等であるが，「現在も気まずい関係」「改善の見込みがない」とした低学年寮生が17名(17.9%)もあり，平成4年(1.9%)，昭和63年(5.5%)に比べ増加している。

清風寮：平成7年の調査はないため，過去との比較はできないが，健康状況では，「不安・病弱」の回答数は1年2名，3年1名，4年1名であり，32名(72.7%)が「健康」として回答した。人間関係については，4名が現在も問題を抱えているようである。男女とも問題を内包している寮生がおり，指導重点項目でもある個指導の配慮を充実させることが重要である。

表3-1 健康状況(雄風寮) (上段：人数，下段：割合%)

調査年度	平成11年							平成4年 ²⁾			昭和63 ¹⁾
	1	2	3	4	5	留学合計		1	2	1・2計	1・2計
健康を維持している	54	46	49	24	26	7	206	57	67	124	99
	85.7	76.7	79.0	66.7	70.3	100	77.7	70.4	82.1	76.5	67.8
どちらともいえない	7	10	12	9	11		49				
	11.1	16.7	19.4	25.0	29.7		18.5				
不安がある	2	4	1	3			10	24	14	38	47
	3.2	6.7	1.6	8.3			3.8	29.6	17.3	23.5	32.2
合 計	63	60	62	36	37	7	265	81	81	162	146

表3-2 人間関係(雄風寮) (上段：人数，下段：割合%)

調査年度	平成11年				平成4年 ²⁾				昭和63 ¹⁾
	1	2	3	合計	1	2	1・2計		1・2計
良好・問題ない	48	48	9	103	60	54	114		106
	76.2	80.0	90.0	77.4	77.9	65.1	71.3		72.6
改善できた	3	2	0	7	13	6	19		9
	4.8	3.3		5.3	16.9	7.2	11.9		6.2
現在も気まずい状態	8	7	1	19	1	2	3		8
	12.7	11.7	10.0	14.3	1.3	2.4	1.9		5.5
改善の見込みなし	4	3	0	7					
	6.3	5.0		5.3					
合 計	63	60	10	133	77	83	160		146

(3) 学習時間及びクラブ活動について (図2，表4-1)

平成7年との比較では，2時間以上学習している寮生は雄風寮で11%，清風寮で8.1%の増加が認められた。また，1時間以下(行わないも含む)は，雄風寮で17.1%，清風寮で8.9%の減少が見られ，寮生の学習への取り組みは向上したとみなすことができる。しかしながら，5年生は1年次(平成7年)と比較すると，雄風寮では学習時間が減少しており，清風寮では学習する寮生としない寮生の2極化が見られた。また，学年別学習時間を図2に示した。ここからも明らかに，雄風寮では，3時間以上学習している寮生は，各学年とも2～5名程度であり，これに2～3時間学習している寮生を含めても1年38%，2年18.8%，3年12.9%，4年8.4%，5年21.6%，全体で21.9%であった。1時間以下については1年17.5%，2年43.4%，3年64.5%，4年61.1%，5年51.3%と3・4年の6割以上がこのような状況である。清風寮も同様な傾向があり，全体では1時間以下が57.1%，1～2時間が23.8%，2時間以上が19.1%であった。雄風寮，清風寮ともに1年が一番長く，学年進行とともに4年まで落ち込み，5年で少し回復するが，時間的には少ない。今後，学習時間をいかに確保させるかは大きな課題といえる。

クラブ加入状況は，雄風寮では平成7年と同様であったが，運動部加入者が3.8%増加し，文化部が4.5%減，未加入者が3.3%と微増した。学年別の未加入者は，3年21%，4年11.1%，5年48.6%であり，高学年は学習もクラブ活動も行っていないことになる。清風寮の加入状況は，文化部が減少し運動部が増加しているが，その学年の構成員の特徴に左右される傾向がある。また，活動状況に関しては表4-1に示したとおり，3～14%の部員が「活動をほとんど行っていない」と答えており，5年まで活動を継続している寮生は，雄風寮14名，清風寮5名のみであった。

図2 学年別学習時間(雄風寮) (数字は人数)

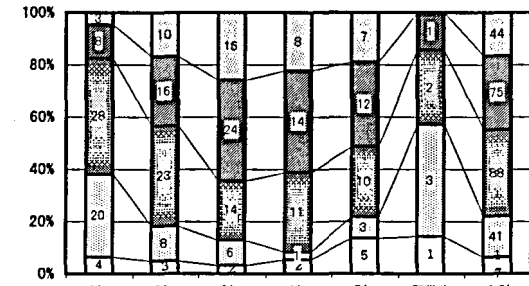


図2 学年別学習時間(雄風寮) (数字は人数)

(4) 違反・盗難について

平成4年度からの違反件数を図3に示した。全体的な件数としては減少しているが，これ以外の違反に

ついて平成8～10年度の資料¹²⁾をまとめると次のとおりである(数値は図3も含め、寮生調書により指導された寮生の延べ数である)。恐喝未遂・暴力(H8:3件)、自転車盗・放置自転車改造(H9:2件)、異性宿泊・入寮黙認(H9:3件)、寮外生宿泊・入寮(H8:8,H10:7件)、アルバイト(H9:1件)、点呼後外出(H8:19,H9:15件)、点呼後花火等(H9:3件)、不正摂食(H8:1,H10:2件)、居室改造・電灯不正使用等(H8:4,H10:5件)、虚偽の届け出(H8:5,H10:3件)、備品・ガラスの破損等(H8:4,H10:3件)であった。また、平成11年度前期までの違反は、寮内飲酒1件3名、点呼時不在多1人、持ち込み違反11件となっている。その他には、平成10年度から「自分たちの身の回りは自分たちできれいにする」という寮生会の働きかけで、清掃や各種当番が遂行されているかどうか各委員長が確認し不履行の場合は、「義務不履行」として指導の対象とした。対象回数は、環境美化作業・清掃等の欠席・未実施(97)、学年別集会欠席(23)、各種当番不履行(26)、帰省・外泊届不履行(届け出内容との食い違い:7)であった。これらにより、清掃等の効果も見受けられるが、罰を恐れて行動するような寮生もあり、本質的な面や教育寮で生活する一員として責任ある行動を理解させるには困難を伴うことも事実である。

盗難についても同資料からまとめると、盗難件数は平成8年4月に郵便局のATMが設置されたこと、及び同年11月から居室の鍵を全寮生が持参するようになってから減少している。平成9年度の報告では「自転車以外の盗難はほとんどなかった」¹²⁾とのことであるが、平成10年度は寮外生による盗難が1件、未解決を含めて財布(現金・カード)8、自転車8、教科書3、スパイク・宅配便・時計など日用品7件の被害が発生した。置き忘れや紛失の可能性も否定できないが、寮生活の信頼関係を損なうだけに、印刷物や学年集会等で事実関係や防止対策を呼びかけた。低学年の集会には指導寮生も同席し、「居室内を整理整頓し、変化に素早く気づく」「記名に心掛ける」との極めて初歩的な生活習慣ではあるが、1・2年寮生には重みのある言葉を投げかけてもらい効果的であった。その後、盗難は減少し、本年度前期までの盗難は届け出があったもので自転車4件、靴1件、アンケート調査からは、自転車2、腕時計1、洗剤等日用品8、冷蔵庫の中身1(清風寮)であった。日用品に関しては、すべて雄風寮1年生であり、寮生活になれない時期の、保管場所や使用状況による「うっかりミス」も含まれると思われる。いずれにしても、日頃から記名、整理整頓、施錠等の居室管理を徹底させることが必要である。

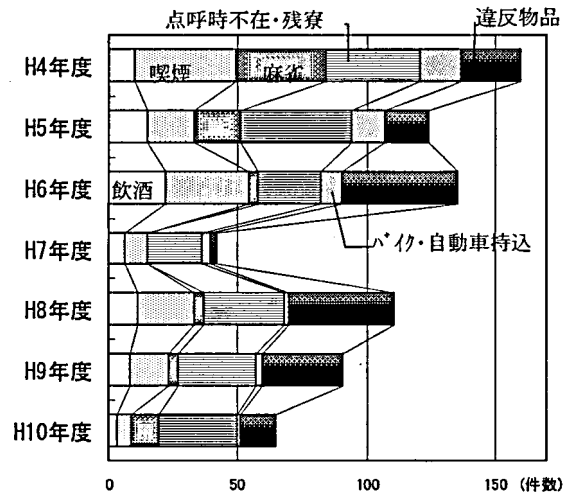


図3 違反件数の年次推移

4. 基本的生活習慣について

寮生活の成否は基本的生活習慣の確立にあるという寮務委員会の指導方針の基、平成10年度から、1・2年生への重点指導として、居室訪問の頻度を高める、生活時間帯調査による寮生の自己評価の実施、指導寮生への指導、学年別集会の実施、入浴時間の日課励行(23時施錠、風呂の当日清掃)、印刷物による問題点・改善点等の呼びかけなどを通して、教育寮としての意義や教育方針を周知させるとともに、寮生の状況を的確に捉えるべく努力をしてきた。ここでは、具体的な生活習慣の内容として、日課に関するもの(起床、消灯、睡眠状態、学習時間)、生活に関するもの(点呼後の外出、居室の管理、清掃状況、入浴、食事、その他)に分類し考察した。

4-1 日課に関するもの

起床・就寝の実態は図4に示したとおりである。寮の日課では午前7時30分までに起床、清掃を済ませることになっているが、この時間に起きている寮生は全体で雄風寮41.9%、清風寮65.9%、1年では雄風寮57.1%、清風寮76.9%で、朝が遅い寮の実態が再確認された。就寝については、23時以前に就寝する寮生は全体で7名のみであり、24時から1時が平均的な就寝時刻であることが伺える。睡眠時間の確保に関しては、雄風寮70.0%、清風寮65.9%が確保及びほぼ確保していると回答しているが、30～35%の学生が「不足している」と感じている。生活の基本は睡眠にあり生活リズムの見直しが必要である。1年生の生活記録からは、学習開始時刻が遅く、点呼前に学習に取り掛かるよう指導したが徹底されていなかった。クラブを実施した場合、点呼前の時間帯

は食事、入浴、洗濯で費やされるのも事実であり、点呼後から2時間学習すればどうしても就寝は24時くらいになってしまう実態も明らかになった。一方、朝型の学生は全体で25名おり早朝5時30分頃から学習やクラブ活動を実施している者もいる。低学年の場合同室に朝型と夜型の学生が同居すると問題も発生しやすく、今年度後期の部屋替えでは、同じタイプの学生が同室になるよう配慮した。入寮当初もこれらの問題には部屋替え等も含め柔軟に対処することが必要であると思われる。

4-2 生活に関するもの

生活に関する集計結果は表4-1～4に示した。点呼後の外出については、アンケート調査上は「外出していない」との回答は雄風寮95.4%、清風寮100%であり、「週に1～2回」との回答が5.3%であった。この数字からは、1日平均4名程度が外出していることになり、数年前と比較すれば大幅に減少している。現実の外出数はこれより多いかもしれないが、点呼後の外出禁止は再三の指導により認識が高まり、実行されてきているといえる。

次に居室の管理についてであるが、盗難防止対策として平成8年度後期から低学年寮生も個人ごとに居室の鍵が配付され、施錠することが指導されてきた。寮外へ出かける際に必ず施錠する寮生は、雄風寮全体では72.5%であるが、1年生のみ49.2%と低かった。1年生ではほとんど施錠しない寮生も19%おり、まだ徹底されていない。これらは1部屋に2～3名が生活していることや朝巡視のため、施錠せず登校する習慣も一因と思われる。清風寮では学年別の傾向は認められず、外出の際必ず施錠している寮生は38.6%にとどまり、玄関の施錠システムによる安心感からか、施錠の意識が薄いといえる。

衛生面については、朝巡視の記録から「寮がきれいになった」との感想をいただけるようになってきたことは喜ばしいことである。改修が進んだこと及び寮生会を中心とした週1回の定期清掃や寮務委員・寮務係による指導の効果ともいえよう。しかし、まだ砂や泥が目立つこともあり、乱雑な居室も存在する。毎朝清掃する心得を忠実に実行している寮生は少なく、清掃実態は週1回が43.6%を占めている。靴の履き替えは各号館玄関で行うことになっているが、雄風寮は68.3%の実施率でありまだ徹底されていない。しかし、5号館寮生用のシューズボックスが3号館玄関に設置されるなど、全体的に履き替えが促進されてきている。また、洗濯に関しては、週3～4回が雄風寮47.5%、清風寮43.2%を占めている。洗濯機の増設は生活記録でも改善要望第1位であり、

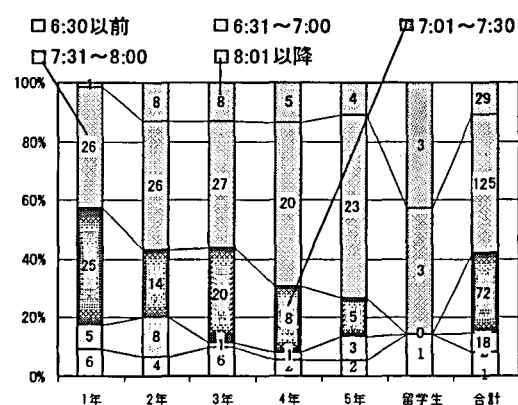


図4-1 起床時刻 (雄風寮) (数字は人数)

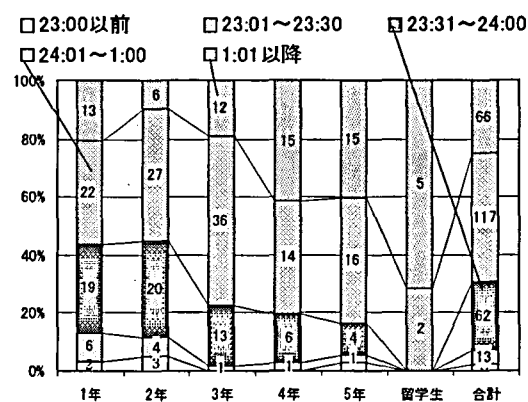


図4-2 就寝時刻 (雄風寮) (数字は人数)

寮生の切実な要望といえる。入浴に関しては、ほとんどの寮生が毎日利用しており、風呂の施設面での不満を持つ寮生は雄風寮では9.6%、清風寮では29.6%あった。雄風寮は1年生が17.5%と最も高いが、内容は入浴時間(ゆっくり入りたい)や入浴時間帯(点呼後も利用したい)に関する記述がほとんどであり、当日清掃に関しては特に不満とする意見はなかった。清風寮は広い面積を求めるものであった。

次に不満内容として最も記述数が多かった食事に関しては表4-2に示したが、雄風寮全体では朝食のみ「不満」が「満足」を上回り、昼・夕食は僅かながら満足が上回っていた。清風寮では3食とも不満が多く、夕食は43.2%が不満と回答した。特に、1日の活動源である朝食には寮生の約25%が不満を持ち30%近くが毎日摂っていない。起床時間が遅いことも一因としてあげられるが、朝食の充実と摂取は大きな課題である。また、エネルギー量は寮務係によると1日2800～3000kcal とのことであるが、運動部学生には不足であり、3食のバランスや男女差・個人差も考慮された食事を模索していくことも必要である。成長期の食事内容は身体的な面ばかりでなく精神的な発達までも影響する。活力ある学生生活や生活習慣病の予防のために、この時期の食生活の重

表 4-1 生活実態(クラブ, 衛生, 外出, 上段:人数, 下段:割合%)

学年	雄風寮						清風寮					
	1	2	3	4	5	留 計	1	2	3	4	5	留 計
クラブ活動状況												
大変よく活動	29	35	26	19	6	115	5	4	5		5	19
活動している	46.0	58.3	42.6	52.8	16.2		38.5	40.0	62.5		71.4	
活動してない	24	12	11	6	8	61	5	5	2		3	15
どちらでもない	38.1	20.0	18.0	16.7	21.6		46.2	50.0	25.0		75.0	
活動なし	1	7	4	3	3	18	1			2	1	4
未入部	1.6	10.0	6.6	11.1	10.8		7.7			100	25.0	
合計	4	2	7	4	2	19	1			1	2	4
	6.3	3.3	11.5	11.1	5.4		7.7			14.3		
	5	4	13	4	18	7	5	1	1	1		4
	7.9	8.3	21.3	8.3	45.9	100	7.7	10.0	12.5	14.3		
総計	63	60	61	36	37	7 264	13	10	8	2	7	4 44

入浴時間帯

18時以前	11	2	10	1	3	27	1					1
18:31~	17.5	3.3	16.1	2.8	8.1	10.2	7.7					2.3
19:30	10	3	3	4		2 22				2	2	4
19:31~	15.9	5.0	4.8	11.1		33.3 8.3				28.6	50.0	9.3
20:30	41	27	23	4	6	3 104	5		2			1 8
20:31~	65.1	45.0	37.1	11.1	16.2	50.0 39.4	38.5		28.6		25.0	18.6
21:30	1	16	14	10	19	1 61	4	4	3		1	12
点呼後	1.6	26.7	22.6	27.8	51.4	16.7 23.1	30.8	40.0	42.9		14.3	27.9
	12	12	17	9		50	3	6	2	2	4	1 18
	20.0	19.4	47.2	24.3		18.9	23.1	60.0	28.6	100	57.1	25.0 41.9
総計	63	60	62	36	37	6 264	13	10	7	2	7	4 43

入浴回数(月から金まで)

1回	1					1						
2回						1						
3回	1			1	1	3						
4回	2	1		3	1	1 8						
5回	60	57	62	32	35	3 249	13	10	8	2	7	4 44
	95.2	96.6	100	88.9	94.6	60.0 95.0	100	100	100	100	100	100
総計	63	59	62	36	37	5 262	13	10	8	2	7	4 44

風呂の施設面

十分満足	15	19	11	7	8	60						1 1
	23.8	31.7	17.7	20.0	21.6	23.0						25.0 2.3
満足	25	29	38	15	21	3 131	6	5	2		1	2 16
	39.7	48.3	61.3	42.9	56.8	75.0 50.2	46.2	50.0	25.0		14.3	50.0 36.4
どちらでもない	12	8	10	10	5	45	6	2	1		4	1 14
	19.0	13.3	16.1	28.6	13.5	17.2	46.2	20.0	12.5		57.1	25.0 31.8
不満	8	3	2	2	2	17	1	3	4	2	2	12
	12.7	5.0	3.2	5.7	5.4	6.5	7.7	30.0	50.0	100	28.6	27.3
かなり不満	3	1	1	1	1	8						1
	4.8	1.7	1.6	2.9	2.7	25.0 3.1						12.5 2.3
総計	63	60	62	35	37	4 261	13	10	8	2	7	4 44

点呼後の外出

外出しない	60	56	61	33	35	4 249	13	10	8	2	7	4 44
	95.2	94.9	98.4	91.7	94.6	66.7 94.7	100	100	100	100	100	100
週に1~2回	3	3	1	3	2	2 14						
	4.8	5.1	1.6	8.3	5.4	33.3 5.3						
総計	63	59	62	36	37	6 263	13	10	8	2	7	4 44

上下履きの区別

玄関で履き替える	60	36	36	26	21	2 181	13	10	8	2	7	4 44
	95.2	60.0	58.1	72.2	56.8	28.6 68.3	100	100	100	100	100	100
居室で履き替える	1	20	20	6	9	4 60						
	1.6	33.3	32.3	16.7	24.3	57.1 22.6						
時々履き替える	2	4	6	1	7	1 21						
	3.2	6.7	9.7	2.8	18.9	14.3 7.9						
上下兼用						3 3						
						8.3 1.1						
総計	63	60	62	36	37	7 265	13	10	8	2	7	4 44

居室の清掃頻度(週あたりの回数)

毎日行う	1	1	2			5						
	1.6	1.7	3.2			1.9						
3~4回	5	1	1	2	6	15						
	8.1	1.7	1.6	5.6	16.2	5.7						
2回	15	8	10	8	5	46	4					
	24.2	13.3	16.1	22.2	13.5	17.4	30.8					
1回	28	28	29	11	6	115	4	3	2		3	12
	45.2	46.7	46.8	30.6	35.1	85.7 43.6	30.8	30.0	25.0		42.9	27.3
不定期	13	22	20	15	12	1 83	5	6	2	1	1	15
	21.0	36.7	32.3	41.7	32.4	14.3 31.4	38.5	60.0	25.0	50.0	14.3	34.1
総計	62	60	62	36	37	7 264	13	10	8	2	7	4 44

表 4-2 生活実態(洗濯, 食事 上段:人数, 下段:割合%)

学年	雄風寮						清風寮					
	1	2	3	4	5	留 計	1	2	3	4	5	留 計
洗濯頻度(週あたりの回数)												
毎日行う	11	19	18	12	6	66	3	1	4			8
	17.5	31.7	29.0	33.3	16.2	24.9	23	10	50			18
3~4回	36	24	32	15	19	126	8	5	2		4	19
	57.1	40.0	51.6	41.7	51.4	47.5	61.5	50.0	25.0		57.1	43.2
2回	15	15	11	4	9	57	2	3	2	1	2	12
	23.8	25.0	17.7	11.1	24.3	42.9 21.5	15.4	30.0	25.0	50.0	28.6	27.3
1回	1	2		3	3	4 13				1	1	2 4
	1.6	3.3		8.3	8.1	57.1 4.9				50.0	14.3	50.0 9.1
不定期						1 2						1
						1.6 5.6						2.3
総計	63	60	62	36	37	7 265	13	10	8	2	7	4 44

朝食の摂取回数(1週間あたり)

毎日	53	41	46	24	27	2 193	13	6	7	2	6	3 37
	84.1	68.3	74.2	66.7	73.0	28.6 72.8	100	60	100	100	86	75 86
3~4回	9	10	8	6	7	40						1
	14.3	16.7	12.9	16.7	18.9	15.1						2.3
2回	3	3	1			1 8						1 2
	5.0	4.8	2.8			14.3 3.0						25.0 4.7
1回	1	2	2	2	1	1 9						1
	1.6	3.3	3.2	5.6	2.7	14.3 3.4						2.3
食べない	4	3	3	2	3	15						2
	6.7	4.8	8.3	5.4	42.9 5.7							4.7
総計	63	60	62	36	37	7 265	13	10	7	2	7	4 43

朝食の欠食理由

時間が	13	9	6	6	6	3 43	1	3			1	1 6
	76.5	47.4	30.0	46.2	40.0	60.0 48.3	100	75			33	50 55
食欲がない	2	5	10	2	6	2 27						3
	11.8	26.3	50.0	15.4	40.0	40.0 30.3						27.3
ダイエット												1 1
												50.0 9.1
まずい	2	5	4	5	3	19						1
	11.8	26.3	20.0	38.5	20.0	21.3						33.3 9.1
総計	17	19	20	13	15	5 89	1	4	1		3	2 11

朝食の満足度

十分満足	6	1	1	1	1	10						
	10.0	1.7	1.6	2.9	2.7	3.9						
満足	26	15	3	2	7	1 54	4					1 5
	43.3	25.0	4.9	5.7	18.9	20.9 30.8						33.3 11.6
どちらでもない	19	23	28	15	10	3 98	9	4	6	1	2	2 24
	31.7	38.3	45.9	42.9	27.0	60.0 38.0	69.2	40.0	75.0	50.0	28.6	66.7 55.8
不満	7	9	15	8	13	52						12
	11.7	15.0	24.6	22.9	35.1	20.2						27.9
かなり不満	2	12	14	9	6	1 44						2
	3.3	20.0	23.0	25.7	16.2	20.0 17.1						4.7
総計	60	60	61	35	37	5 258	13	10	8	2	7	3 43

昼食の満足度

十分満足	14	4	1	1		1	21												
	22.2	6.7	1.6	2.8		20.0	8.0												
満足	29	14	9	5	9	2	68	5	1	1				2	9				
	46.0	23.3	14.5	13.9	24.3	40.0	25.9	38.5	10.0	13				50.0	20.9				
どちらでもない	17	29	39	16	19	2	122	7	5	4				5	1	22			
	27.0	48.3	62.9	44.4	51.4	40.0	46.4	53.8	50.0	50.0				71.4	25.0	51.2			
不満	2	8	9	7	5		31	1	4	3				2	1	11			
	3.2	13.3	14.5	19.4	13.5		11.8	7.7	40.0	37.5				28.6	25.0	25.6			
かなり不満	1	5	4	7	4		21						1			1			
	1.6	8.3	6.5	19.4	10.8		8.0						100			2.3			
総計	63	60	62	36	37	5	263	13	10	8	1	7	4	43					

表 4-3 生活実態(施設,騒音,病気 上段:人数,下段:割合%)

学年	雄風寮						清風寮					
	1	2	3	4	5	留 計	1	2	3	4	5	留 計
居室の施設について:寮内で部屋を開ける場合の施設												
必ず施設	12	19	20	6	7	64	1					1 2
	19.0	31.7	32.3	16.7	18.9	24.2	10.0					25.0 4.5
時々施設	25	22	25	15	14	4 105	4	1	2		1	2 10
	39.7	36.7	40.3	41.7	37.8	57.1 39.6	30.8	10.0	25.0		14.3	50.0 22.7
食事や入浴時	4	7	6	3	6	26						
	6.3	11.7	9.7	8.3	16.2	9.8						
ほとんどしない	22	11	9	11	10	3 66	9	8	5	2	6	1 31
	34.9	18.3	14.5	30.6	27.0	42.9 24.9	69.2	80.0	62.5	100	85.7	25.0 70.5
その他	1	2	1			4			1			1
	1.7	3.2	2.8			1.5			12.5			2.3
総計	63	60	62	36	37	7 265	13	10	8	2	7	4 44

居室の施設について:寮外へ出かける場合の施設

必ず施設	31	43	56	26	31	5 192	3	5	2			4 3 17
	49.2	71.7	90.3	72.2	83.8	71.4 72.5	23.1	50.0	25.0			57.1 75.0 38.6
時々施設	20	10	5	7	4	2 48	4	3	6	1	1	1 16
	31.7	16.7	8.1	19.4	10.8	28.6 18.1	30.8	30.0	75.0	50.0	14.3	25.0 36.4
ほとんどない	12	7	1	3	2	25	6	2		1	2	11
	19.0	11.7	1.6	8.3	5.4	9.4	46.2	20.0		50.0	28.6	25.0
総計	63	60	62	36	37	7 265	13	10	8	2	7	4 44

居室内の騒音(居室にうさく感じることがあるか)

頻繁にある	11	5	2	5	1	24	1					1
	17.7	8.3	3.2	13.9	2.8	9.1	7.7					2.3
時々ある	13	12	11	6	6	1 49	3	4	3		3	1 14
	21.0	20.0	17.7	16.7	16.7	14.3 18.6	23.1	40.0	42.9		42.9	25.0 32.6
たまにある	26	14	19	6	6	2 73	3	1	1			5
	41.9	23.3	30.6	16.7	16.7	28.6 27.8	23.1	10.0	14.3			11.6
ない	12	29	30	19	23	4 117	6	5	3	2	4	3 23
	19.4	48.3	48.4	52.8	63.9	57.1 44.5	46.2	50.0	42.9	100	57.1	75.0 53.5
総計	62	60	62	36	36	7 263	13	10	7	2	7	4 43

上記騒音の発生源

同室者への訪問者	41	22	6	4	6	1 80	5	1				6
	82.0	68.8	20.0	23.5	42.9	33.3 54.8	71.4	20.0				31.6
CD, 楽器等	5	3	11	2	3	2 26			2			2
	10.0	9.4	36.7	11.8	21.4	66.7 17.8			40.0			10.5
その他	4	7	13	11	5	40	2	2	4		2	1 11
	8.0	21.9	43.3	64.7	35.7	27.4	28.6	40.0	100		100	100 57.9
総計	50	32	30	17	14	3 146	7	5	4		2	1 19

隣室の騒音(隣室にうさく感じることがあるか)

頻繁にある	6	6	9		5	26	1	1				1 3
	9.5	10.0	14.5		13.5	9.8	7.7	10.0				25.0 6.8
時々ある	16	15	12	7	8	1 59	2		2		1	5
	25.4	25.0	19.4	19.4	21.6	14.3 22.3	15.4		25.0		14.3	11.4
たまにある	17	13	14	15	8	2 69	3	3	3	1	2	12
	27.0	21.7	22.6	41.7	21.6	28.6 26.0	23.1	30.0	37.5	50.0	28.6	27.3
ない	24	26	27	14	16	4 111	7	6	3	1	4	3 24
	38.1	43.3	43.5	38.9	43.2	57.1 41.9	53.8	60.0	37.5	50	57.1	75.0 54.5
総計	63	60	62	36	37	7 265	13	10	8	2	7	4 44

上記騒音の発生源

話し声	34	22	23	12	15	1 107	6	2	4	1	2	1 16
	82.9	66.7	65.7	54.5	71.4	33.3 69.0	100	50.0	80.0	100	66.7	100 80.0
CD, 楽器等	4	5	6	6	5	26			1		1	2
	9.8	15.2	17.1	27.3	23.8	16.8			25.0		33.3	10.0
ドアの音	1	3			2	6			1			1
	3.0	8.6			66.7	3.9			25.0			5.0
その他	2	5	3	4	1	15				1		1
	4.9	15.2	8.6	18.2	4.8	9.7			20.0			5.0
総計	41	33	35	22	21	3 155	6	4	5	1	3	1 20

病気のとき,まず行う行動

寮事務・当直教官室へ	12	9	6	1	3	2 33	3	1	2			6
	19.4	15.0	9.7	2.9	8.1	40.0 12.7	23.1	10.0	25.0			14.0
医者へ	3	3	5	5	4	20			2		1	3
	4.8	5.0	8.1	14.7	10.8	7.7			20.0		14.3	7.0
保健室へ	5	1	5		2	13						2 2
	8.1	1.7	8.1		5.4	5.0						66.7 4.7
市販薬	30	25	35	15	23	3 131	5	5	4		6	1 21
	48.4	41.7	56.5	44.1	62.2	60.0 50.4	38.5	50.0	50.0		85.7	33.3 48.8
その他	12	22	11	13	5	63	5	2	2	2		11
	19.4	36.7	17.7	38.2	13.5	24.2	38.5	20.0	25.0	100		25.6
総計	62	60	62	34	37	5 260	13	10	8	2	7	3 43

表 4-4 生活実態(その他 上段:人数,下段:割合%)

学年	雄風寮						清風寮					
	1	2	3	4	5	留 計	1	2	3	4	5	留 計
寮生活でのストレス(いろいろなこと)												
良くある	12	14	16	6	2	1 51						3 2 2
	19.0	23.3	25.8	16.7	5.6	20.0 19.5						30.0 25.0 28.6 16.3
時々ある	14	13	10	14	6	3 60	5	3	4		2	14
	22.2	21.7	16.1	38.9	16.7	60.0 22.9	42	30.0	50.0		28.6	32.6
たまにある	24	14	25	6	9	78	2	2	1	1	1	2 9
	38.1	23.3	40.3	16.7	25.0	29.8	16.7	20.0	12.5	50.0	14.3	50.0 20.9
他で気を紛らす	5	8	4	3	5	25	3					1 4
	7.9	13.3	6.5	8.3	13.9	9.5	25.0				14.3	9.3
ない	8	11	7	7	14	1 48	2	2	1	1	1	2 9
	12.7	18.3	11.3	19.4	38.9	20.0 18.3	16.7	20.0	12.5	50	14.3	50 20.9
総計	63	60	62	36	36	5 262	12	10	8	2	7	4 43

休日の主な過ごし方

学習	7	1	1		6	15						1
	11.1	1.7	1.6		16.2	5.7						16.7 2.3
クラブ	19	31	21	17	3	1 92	7	3	5		2	17
	30.2	51.7	33.9	48.6	8.1	14.3 34.8	54	30.0	62.5		33.3	39.5
外出(趣味・娯楽)	22	24	33	14	25	6 124	2	3	2	2	2	3 14
	34.9	40.0	53.2	40.0	67.6	85.7 47.0	15.4	30.0	25.0		100	33.3 75.0 32.6
休養	11	2	6	4	2	25	4	3			1	1 9
	17.5	3.3	9.7	11.4	5.4	9.5	30.8	30.0			16.7	25.0 20.9
睡眠												
整理	1	1			1	3				1		1
	1.7	1.6			2.7	1.1				12.5		2.3
洗濯等	4	1				5				1		1
	6.3	1.7				1.9				10.0		2.3
その他												
総計	63	60	62	35	37	7 264	13	10	8	2	6	4 43

電話当番や風呂当番をどう考えるか

現行	45	56	58	35	34	3 231	10	5	6	1	6	4 32
	71.4	93.3	95.1	97.2	91.9	75.0 88.5	76.9	50.0	85.7	100	100	100 78.0
どおり	16	2	1		2	21	2	4				6
	25.4	3.3	1.6		5.4	8.0	15	40.0				14.6
行う	2	2	2	1	1	1 9	1	1	1			3
	3.2	3.3	3.3	2.8	2.7	25.0 3.4	7.7	10.0	14.3			7.3
その他												
総計	63	60	61	36	37	4 261	13	10	7	1	6	4 41

寮外について

特に不満はない	52	44	35	21	35	6 193	11	7	6		5	4 33
	83.9	73.3	56.5	61.8	94.6	85.7 73.7	84.6	70.0	75.0		71.4	100 76.7
もっと厳しく	1	3	2	2		1 9						
	1.6	5.0	3.2	5.9		14.3 3.4						
どちらともいえない	2	4	3	5	1	15						
	3.2	6.7	4.8	14.7	2.7	5.7						
不満	7	6	20	5	1	39	1	2	1	1	2	7
	11.3	10.0	32.3	14.7	2.7	14.9	7.7	20.0	12.5	100	28.6	16.3
その他	3	2	1			6			1	1	1	3
	5.0	3.2	2.9			2.3	7.7	10.0	12.5			7.0
総計	62	60	62	34	37	7 262	13	10	8	1	7	4 43

寮の巡視について

特に不満はない	51	49	48	29	33	6	216	11	6	7	2	4	4	34
	81.0	81.7	77.4	80.6	89.2	85.7	81.5	84.6	60.0	87.5	100	80.0	100	81.0
もっと厳しく	1	1	1	1		1	5							
	1.6	1.7	1.6	2.8		14.3	1.9							
どちらともいえない	6	3	7	4	2		22	1	3	1		1		6
	9.5	5.0	11.3	11.1	5.4		8.3	7.7	30.0	12.5		20.0		14.3
不満	5	7	5	1	1		19							
	7.9	11.7	8.1	2.8	2.7		7.2							
その他				1	1		3	1	1					2
			1.6	2.8	2.7		1.1	7.7	10.0					4.8
総計	63	60	62	36	37	7	265	13	10	8	2	5	4	42

要性を理解させるなど、見落としがちな寮生の食行動に関して、教育寮としてはもっと関心を高め積極的に改善を図る必要がある。

その他の問題として精神衛生面があげられる。同室者への訪問者を嫌う、隣室の話し声が騒音として気になる、ストレスを解消できない、複数で一人をからかう等、個室化の短所ともいうべき問題も発生している。解決策としては、個人の耐性を高める、寮生同士の交流を深める、気軽に相談できる環境や問題を早期発見する体制等の充実などがあげられる。

寮は生活の場であり新しい課題が発生し、寮生と教官・事務官が協力し解決に向け努力している。他高専でも、教官の指導体制の見直しと寮生の生活習慣の見直しにより問題行動を防止した取り組み⁴⁾、1年～5年生までを含む小集団を核とし、5年生が指導的立場で寮を運営し成果をあげている報告³⁾、5年生を中心とした指導寮生体制での寮改革⁵⁾などが報告されている。これらのいずれも、5年生の指導的立場と寮生の「自分たちの寮は自分たちでよくする」という自浄作用が見受けられる。個室化が進む中で、本校でも4・5年生にはお客さんの立場を脱却し、最上級生として自主的・指導的立場を誘発できるような指導を心がけており、今後も強化して行く必要がある。寮生会では、5年生が役員として残るなど、具現化してきている面も見受けられるが、学校全体として、18・19歳という無限の可能性を秘めた年代の学生を甘やかすことなく、生活、勉学、クラブ活動等に率先した行動を求める指導や雰囲気醸成も必要かと思われる。また、低学年寮生の基本的生活習慣の形成は、本年度の場合、毎月生活記録を提出させ指導寮生と寮担任がチェックしたり、寮担任及び主事補による居室訪問の頻度(1～2回/週)を高め寮生との対話を尊重するなど、寮生の生活実態を把握し指導に生かしてきた。問題を未然に防いだり発生を低く抑える効果はあったと思われる。しかし、入寮当初の緊張感をいかに持続させ自発的に行動するか、入寮直後にできたことがどのようなきっかけでできなくなるのかは今後の課題として調査・考察を深める必要がある。

5. まとめ

全寮生に過去と同様の調査を実施し、生活実態・意識の比較検討を試みた。また、改修が一段落し個室型教育寮に変化する中で、配慮すべき指針や方策について考察した結果は以下のようにまとめられた。

(1) 寮生活の満足度は、雄風寮では過去と同様であるが不満が減少し、清風寮では満足度が低下した。

- (2) 人間関係を改善・構築できない者が増加している。
- (3) 学習時間は高学年ほど少なく、1時間以下が全体の6割を占めていた。
- (4) 朝食を主とした食事の改善、及び食行動について寮生の認識を高める必要がある。
- (5) 入寮直後の基本的生活習慣形成のためには、指導機会を増加させたことは効果的であった。
- (6) 基本的生活習慣の定着・持続や、自律した生活に関する方策の具体化は今後の課題である。
- (7) 個室型教育寮としては、居室訪問等により寮生の生活実態を的確に把握することが重要となる。寮生同士の交流の活発化、気軽に相談できる環境や指導の充実及び5年生を中心とした上級学年の寮生が指導的な立場で寮運営に携わるなど、現状をさらに発展させた方策が望まれる。
- (8) 清風寮も雄風寮同様に指導していく必要性が高い。

以上、現在の社会・家庭・教育環境で育った学生が、寮生活にうまく適応し、5年間継続した寮生活が送れるように導き、また、保護者や地域の信頼を高めるために、学生とともに改善する努力を惜しまないことが必要であろう。

参 考 文 献

- 1) 坂口正雄・北原明文・堀内征治・服部秀人他：寮の改善策の効果について、高専教育第13号，pp175-182，1990
- 2) 知野照信・中村護光・塚田修三・永藤好壽宮：寮の改善策の定着について、高専教育第17号，pp335-342，1994
- 3) 黒川章二・清野哲也他：小集団分割制方式による学寮運営と寮生の意識、高専教育第20号，pp295-303，1997
- 4) 富島俊彦・松木雅文・正田 満他：寮生の問題行動を防止するための取り組み、高専教育第21号，pp309-318，1998
- 5) 中出明人・藤本 晶・高木浩一：指導寮生による低学年寮生指導改善の試み、高専教育第22号，pp481-488，1999
- 6) 宮崎 敬・宮崎晃臣・曾田友紀子・松岡保正・中沢喜昌：寮の改修期における寮生の生活・意識調査とその検討結果について、高専教育第20号，pp304-312，1997
- 7) 山口 巧・澤本章一・横井克則・端 平雄：学寮におけるネットワークの活用、高専教育第20号，pp313-320，1997
- 8) 前田善文：学寮改修に伴う諸問題、平成6年度厚生補導研究会報告書，pp50-53，1994
- 9) 宮崎 敬：寮生の意識調査と寮改修後の指導について、平成7年度厚生補導研究会報告書，pp92-115，1995
- 10) 長野工業高等専門学校自己点検・評価報告書(第3報)．pp111-142，1997
- 11) 長野工業高等専門学校自己点検・評価報告書(第5報)．pp27-29，1998
- 12) 中沢喜昌・中村護光：寮関係のまとめ，1996,1997,1998